

タイトル IoT スマートゴミ箱の設置  
 ～環境省「ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業」～

日付 7月24日(水)

本市と連携して、三井住友海上火災保険株式会社とMS&AD インターリスク総研株式会社が、IoT スマートゴミ箱を活用することによる一部地域のごみ散乱抑制・再資源化を促進する事業を実施しており、**7月24日**にIoT スマートゴミ箱を市内3カ所に設置することが決定しました。  
※当日、現地で取材を希望する方は、事前に連絡をください。

## 1. 背景

国内外で観光需要が回復し、多くの観光地が賑わいを取り戻している一方で、一部の地域では、オーバーツーリズムによる過度な混雑やマナー違反が問題となっています。地域住民の生活への影響や観光客の満足度低下が懸念されるため、国は、持続可能な観光地域づくりに向けたマナー違反の防止・抑制などの各種対策に取り組んでいます。

このような中、日本を代表する観光資源である富士山周辺地域において、デジタルの力を活用してごみの散乱を抑止し、再資源化を促進する事業を開始しました。本事業は、環境省の「ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業」に採択されています。

## 2. 事業の全体像

人流データにより特定した本市の観光過密地域に、フォーステック社が提供するサイネージ付きのIoTスマートゴミ箱「SmaGO」を設置し、観光地のマナー啓発・分別案内などを行います。SmaGOは太陽光発電・蓄電機能を備えており、溜まったごみを自動で1/6程度に圧縮します。また、通信機能により、設置場所周辺のごみの蓄積状況を管理・分析できるため、効率的なごみの回収作業やごみの散乱抑制・再資源化を促す取り組みにつなげることができます。

### 【事業のイメージ】



### 【SmaGO の特徴】

減らしていく。街のごみから海のごみを、

環境にやさしい

ソーラーで発電、再生可能エネルギーで自給自足※

※ わずか月8時間の太陽光発電で、1ヶ月安定稼働します。

ゴミが溢れない

ごみが溜まると自動圧縮 (容量に対して5～6杯分になる)

回収コスト削減

IoTで溜まった量をモニタリング、ごみ回収も最適化

3. 設置箇所



問合せ先	富士山課	担当者名	舟久保 直也	連絡先	内線 425
------	------	------	--------	-----	--------